

京都帝國大學文學部考古學研究報告

第九冊

豐後磨崖石佛の研究

大正十三年四月—大正十四年三月

京都帝國大學發行

豊後磨崖石佛の研究

京都帝國大學文學部
考古學研究報告 第九冊

序 言

豊後の石佛は本學教授理學博士小川琢治君の大正二年より三年に亘り踏査して之を學界に報告するに至つて、其の名聲漸く中央に聞これ、次いで全國各地に於ける石佛の研究亦た催進せらるゝの氣運に向へり。余輩生平博士の誘導により、此等石佛を研究するの機會を得、大正十一年四月助教澤村專太郎君と共に、大分及び臼杵の石佛を調査すること約二週日爾來其の結果を收輯して、之を公にせんとするの意ありしも、澤村君は其後海外に留學して、共同事に携はるの便を失ひ、其の調査亦た未だ完からざるものありしかば、次いで大正十二年四月文學部教務囑托梅原末治君に囑して、再び臼杵地方の石佛の調査に従はしめ、又た十三年三月助手島田貞彦君を派して、其の一部を補はしめ、茲に略ぼ本篇の材料を輯成するに至れるが、なほ意に満たざるものあり、本年一月自ら大分地方の石佛を再訪し、序を以て大野郡及び西國東郡に於ける石佛の未だ見るに及ばざりしものを調査し、比較研究に資する所あり、終に本冊の印行を見るに至れり。此間小川博士が始終直接間接其の研究に好意を寄せられしは、余輩の深く銘記して忘るゝ能はざる所なるのみならず、澤村文學士が提供せられたる調査手記亦た頗る重要なる資料となれることは、本報告書の出版に際して、特に明記して深謝の意を表せんと欲する所なり。又た本學教授文學博士松本文三郎氏は、昨年一月豊後の石佛を調査せられ、其の觀察せらるゝ所により、示教を得たるもの尠からざるは、工藤氏の「豊州磨崖石佛」及び小野玄妙氏の「大分の石佛に就いて」の二著に負ふ所多きと共に、余輩の深く感謝する所なり。

余輩は又た豊後に於ける石佛の實地調査に於いて、別府市日名子太郎氏より始終懇切なる指導を受け、臼杵地方に於いては臼杵町役場小城長次郎氏をはじめ、北海郡書記玉田氏及び深田區長田口常藏氏等の厚意を得たるもの多大なるを感謝せずんばならず。又た本文中深田の石佛に關する記述は、先づ梅原末治君の手記に成りしもの多く、島田君が製圖其他に於ける勞苦と共に、本書の完成に寄與する所最も多きを記憶せざるを得ず。又た本冊所載の寫眞の大部分は、文學部囑托鈴木増太郎君の手に成るものにして、同君の苦心努力は、余輩の感謝措く能はざる所なり。其他若干の寫眞は小林忠次郎君の厚意により、工藤利三郎君撮影のものを轉載し、又た小川晴陽君の寫眞一二を複寫使用する所あり。なほ挿圖に收めたる諸圖に至りては、一々其の出所を注記して負ふ所を明かにし、謝意を表する所あらんとす。

最後に本報告書出版に際して、新に大阪毎日新聞社長本山彦一氏より資金として多大の寄附を受け、遂に其の刊行を完くするを得たるは、余輩の特に感謝措く能はざる所なるを附記せんと欲す。

大正十四年一月

文學部教授文學博士 濱田耕作

[追記]本冊印刷半ばにして、余輩は東北地方及び奈良に旅行し、下野、磐城及春日山の諸石佛を一見し、豊後石佛と比較考察に多大の裨益を得たり。之に關しては足利町丸山源八氏、東北帝國大學教授長谷部言人氏及び奈良縣史蹟調査囑托上田三平氏等の厚意に由るもの多し。記して感謝の意を表す。(大正十四年四月)

豊後の磨崖石佛研究目次

序

説

序 説 一頁

第一章

大分市上野元町の石佛

大分市上野元町の石佛 六

第一節

石佛の所在地と其の歴史傳説 六

第二節

岩薬師像群 九

第三節

岩薬師北方像群 一五

第四節

龍ヶ鼻附近像群 一六

第五節

諸像の製作年代と美術的價值 二四

第二章

大分郡植田村の石佛

大分郡植田村の石佛 三〇

第一節

高瀬の石佛洞 三〇

第二節

石窟の佛像 三三

第三節

佛像の製作年代と美術的價值 三九

第三章

大野郡菅尾村の石佛

大野郡菅尾村の石佛 四二

第一節

淺瀬岩權現の諸像 四二

第二節

諸像の製作年代と美術的價值 四七

第四章

北海部郡臼杵町深田の石佛

北海部郡臼杵町深田の石佛 四七

第一節	石佛の所在地と其の由緒傳説	四
第二節	大日山像群	五
第三節	隠れ地藏群	六
第四節	堂ヶ迫下群像	七
第五節	堂ヶ迫上群像	八
第六節	満月寺址附近の諸像	九
第七節	日吉塔及び其他の石塔	一〇
第八節	諸像の製作年代と美術的價值	一一
第九節	白杵町門前の石佛	一二
第五章	後論	一三
第一節	豊後石佛造像の特質	一四
第二節	豊後石佛の作者と時代	一五
第三節	豊後石佛の様式觀	一六
第四節	豊後の石佛と支那朝鮮の石佛との關係	一七
第五節	豊後の石佛と其の製作的基础	一八
卷末別註		一九
豊後諸地方石佛地名表		二〇

圖 版 目 次

卷 首	大分市元町岩藥師像上半身 (工藤氏寫真) 一〇	對本文頁
第 一	(1) 大分元町岩藥師像覆堂 (2) 同上岩藥師北方三尊右脇侍 六、九、二五	
	(3) 同上民家背後佛龕 一六	
第 二	(1) 大分元町岩藥師佛全身 (2) 同上頭部右側面 一〇、二五、二六	
第 三	(1) 同上岩藥師像左側不動明王及二童子像 (藤田寫真) 二、三	
	(2) 同上右側多聞天像 (同上) 一三	
第 四	大分市元町岩藥師像及附近石佛所在地測圖 (濱田實測) 六	
第 五	大分市元町龍ヶ鼻石佛群全景 一六—二三	
第 六	(1) 同上龍ヶ鼻B群諸像 (2) 同上龍ヶ鼻A群諸像 一六—二三	
第 七	(1) 同上龍ヶ鼻B群三尊左脇侍菩薩像 (2) 同上龍ヶ鼻A群左端諸像 一六—三三	
第 八	同上龍ヶ鼻B群十一面觀音像 (工藤氏寫真) 三、二七	
第 九	(1) 同上十一面觀音像左側面 (2) 同上十一面觀音頭部右側面 三、二七	
第 一〇	(1) 同上龍ヶ鼻千鉢佛岩 (2) 同上破片 三、二六	
第 一 一	大分市元町龍ヶ鼻石佛群所在地測圖 (濱田實測) 一六—三三	
第 一 二	大分市及大分郡種田村附近地圖 (陸地測量部地形圖分載) 六八、三〇、三三	
第 一 三	(1) 植田村高瀬石佛洞遠望 (2) 同上石佛洞右方三尊小龕 三〇、三一、三六	

第一四	植田村高瀬石佛洞	三〇—四〇
第一五	同上大日如來像(工藤氏寫真)	三三、三三、三六
第一六	(1)同上大日如來像頭部及光背 (2)同上大日如來像頭部右側面	三三、三三、三六
第一七	(1)同上大日如來、如意輪觀音馬頭觀音像右側面 (2)同上馬頭觀音像	三一—三三
第一八	(1)同上大威德明王像(工藤氏寫真) (2)同上如意輪觀音像(同上)	三一—三五
第一九	同上深沙大將像(工藤氏寫真、島田君彩色)	三五
第二〇	(1)同上石佛洞南側戶口切込 (2)同上石佛洞附近橫穴古墳	三三
第二一	植田村高瀬石佛洞所在地測圖(濱田實測)	三〇—四〇
第二二	(1)菅尾村淺瀬岩權現覆堂全景 (2)同上內部石佛諸像	四一—四六
第二三	(1)同上岩權現石佛左側觀 (2)同上右側觀	四一—四四
第二四	(1)同上千手觀音像 (2)同上藥師如來像	四三、四三
第二五	(1)同上阿彌陀如來像 (2)同上十一面觀音像	四三
第二六	(1)同上十一面觀音像頭部 (2)同上千手觀音像頭部	四三、四三
第二七	(1)同上十一面觀音像及多聞天像 (2)同上多聞天像	四三、四四
第二八	(1)菅尾村淺瀬岩權現石佛所在地測圖(濱田略測) (2)白杵町門前石佛所在地測圖(同上)	四一—四四 九一—一〇〇
第二九	白杵町深田附近地圖(白杵町役場圖ニ據リ小野君輯製)	四七—五〇
第三〇	白杵町深田石佛所在地及滿月寺址大觀	四七—五〇

第三一	(1) 大日山及堂ヶ迫附近全景 (2) 大日山石佛群所在地	五二六
第三二	大日山及堂ヶ迫石佛所在地圖 <small>(白杵町役場地籍圖ニ據リ濱田略測、小野君製圖)</small>	五二六
第三三	大日山石佛群全景	五二六
第三四	(1) 大日山石佛群全景 (2) 同上左側諸像	五二六
第三五	(1) 同上大日如來頭部正面 (2) 同上左側面	五三、五四
第三六	(1) 同上大日如來像膝部破片 (2) 同上胸部殘像	五三、五四
第三七	同上左右佛像頭部 (1) 左第一 (2) 左第二 (3) 右第一 (4) 右第二	五五
第三八	(1) 同上左側二菩薩及不動明王像 (2) 同上右側佛及二菩薩像	五五、五六
第三九	(1) 同上左側第三菩薩像 (2) 同上左側第四菩薩像	五五、五六
第四〇	(1) 同上下側第四菩薩像 (2) 同上下側第三菩薩像	五五、五六
第四一	(1) 同上左側第六增長天像 (2) 同上左側第五不動明王像	五七
第四二	(1) (2) 同上下側第六多聞天像	五八
第四三	(1) (2) 同上下入口仁王像 <small>(金剛)</small>	五九
第四四	(1) 大日山石佛群所在地測圖 <small>(濱田實測)</small> (2) 堂ヶ迫石佛上群所在地測圖 <small>(同上)</small>	五六、五七
第四五	(1) 隱れ地藏群遠望 (2) 同上下尊像	六三、六四
第四六	(1) 同上下尊側面 (2) 同上下左側佛像側面 (3) 同上下右側佛像頭部	六三、六四
第四七	隱れ地藏群左側佛像 <small>(工藤氏寫真)</small>	六三、六四
第四八	(1) 隱れ地藏群所在地測圖 <small>(濱田實測)</small> (2) 堂ヶ迫石佛下群所在地測圖 <small>(同上)</small>	六三、六四、六五

第四九	堂ヶ迫石佛諸群遠望 (大日山西麓)	四、四、七、七
第五〇	(1) 堂ヶ迫石佛群遠望 (大日山北方)	四、四、七、七、八
	(2) 満月寺址附近遠望	四、四、八
第五一	(1) 堂ヶ迫下群 (C) 群全景	五、六、七
	(2) 同上右方四像	五、六、七
第五二	(1) 堂ヶ迫下群 (D) 群三尊	六、七
	(2) 同上左脇侍勢至菩薩像 (工藤氏寫真)	六、七
	(3) 同上右脇侍觀音菩薩像	六
第五三	(1) 同上中尊阿彌陀如來像	六、七
	(2) 同上三尊右側觀	六、七
第五四	同上中尊阿彌陀如來像上半身 (工藤氏寫真)	六、六、七、七
第五五	同上右脇侍觀音菩薩像上半身 (同上)	六、六、七、七
第五六	(1) 同上右脇侍觀音菩薩像頭部右側觀	六、六
	(2) 同上中尊阿彌陀如來像頭部右側觀	六、六
第五七	(1) 堂ヶ迫上群五輪塔列	七、七、七
	(2) 同上地藏菩薩及十王像	七、七、七
第五八	(1) 同上地藏菩薩上半身右側觀	七、七
	(2) 同上地藏菩薩像正面	七、七
第五九	(1) 同上左側十王像	七、七
	(2) 同上右側右端十王像	七、七
第六〇	(1) 堂ヶ迫上群 G 群三尊及二菩薩像	七、七
	(2) 同上 H 群三尊像	七、七
第六一	(1) 同上 G 群中尊大日如來像	七
	(2) 同上右側阿彌陀如來像	七
第六二	(1) 同上 H 群諸像	七、七
	(2) 同上 J 群像	七、七
第六三	(1) 同上 H 群釋迦如來像上半身右側觀	七、七
	(2) 同上藥師如來像上半身左側觀	七、七
	(3) 同上阿彌陀如來像上半身左側觀	七

第六四	(1) 同上J群諸像 (2) 同上H群阿彌陀如來像頭首半部正面及側面	七、七、七
第六五	(1) 同上J群第二像頭部 (3) 同上第三像頭部 (4) 同上第四像阿彌陀如來頭部左側觀	七、七、七、七
第六六	滿月寺址附近測圖 (濱田實測)	八〇—八四
第六七	(1) 滿月寺址仁王像 (2) 同上蓮城及長者夫妻像遠望	八〇—八三
第六八	(1) 滿月寺址左方仁王像 (2) 同上右方仁王像	八〇、八一
第六九	(1) 同上左方仁王像側面觀 (2) 同上右方仁王像側面觀	八〇、八一
第七〇	(1) 同上蓮城法師像 (2) 同上長者夫妻像	八三、八三
第七一	同上日吉塔	八六—八八
第七二	(1) 中尾臺石塔 (2) 堂ヶ迫D群前石塔	八八—九一
第七二 _a	中尾臺石塔拓本 (梅原君)	八九、九〇
第七三	白杵町深田石佛石塔圖 (天沼博士原圖等)	七、八六—八七
第七四	(1) 白杵町門前石佛 (2) 同上三尊像	九一—一〇〇
第七五	同上不動明王及二童子像	九一、一〇〇
第七六	白杵町深田石佛像顏面側線圖 (濱田及梅原君作圖)	二九—三三
第七七	同上衣紋皺襞斷面圖 (同上)	二九
卷末	豐後磨崖石佛分布及地質略圖 (百萬分一地質圖ニ據リ小野君製圖)	三、四、二九、三〇

挿圖目次

第一圖	大分市元町岩藥師群不動明王及二童子像略圖(濱田)	二頁
第二圖	同上岩藥師群多聞天像略圖(同上)	三
第三圖	同上龍ヶ鼻群右方諸佛略圖(同上)	八
第四圖	同上龍ヶ鼻群左方諸佛略圖(同上)	一九
第五圖	同上龍ヶ鼻群刻銘石孔略圖(同上)	三
第六圖	同上刻銘拓本(梅原君)	三三
第七圖	長谷寺千體佛板(國寶帖方)	二六—二九
第八圖	興福寺三重塔内板壁千體佛彩繪(松岡寫真)	二八—二九
第九圖	深沙大將圖像(阿婆縛抄、覺禪抄所載)	三七
第十圖	法隆寺橋夫人厨子阿彌陀三尊像(國寶帖方)	四〇—四一
第十一圖	觀心寺如意輪觀音像(國寶帖、文様集成方)	四〇—四一
第十二圖	宇治白河地藏院阿彌陀三尊像	四〇—四一
第十三圖	同上大威德明王像	四〇—四一
第十四圖	觀世音寺馬頭觀音像(國寶全集方)	四〇—四一
第十五圖	高野山金剛峰寺深沙大將像	四〇—四一
第十六圖	白杵町深田入口石鳥居	四

第十七圖	同上大日山石佛群大日像寶冠破片 (島田君寫圖及寫真)	五
第十八圖	同上大日山石佛群覆堂想像圖 (島田君)	五
第十九圖	同上堂ヶ迫C群坐像光背略圖 (梅原君)	五
第二十圖	同上E群地藏像斷面圖 (同上)	七
第二十一圖	同上G群中尊斷面圖 (同上)	七
第二十二圖	同上炭燒長者炭燒窯	八
第二十三圖	同上炭燒窯平面圖 (梅原君)	八
第二十四圖	吳越王俶金銅小塔 (1) 山城金胎寺藏 (2) 紀伊熊野發見 (考古雜誌)	八
第二十五圖	同上深田村發見板五輪及板碑圖 (天沼博士原圖)	九
第二十六圖	豐後大野郡南緒方村宮園大日如來像群	九
第二十七圖	同上彌陀樂師釋迦三佛群中彌陀如來像	一〇
第二十八圖	同上西國東郡田染村熊野社大日如來像 (小野氏大分の石佛)	一〇
第二十九圖	真野草刈長者像 (佛教藝術石佛號)	一四
第三十圖	橘寺傳日羅上人像 (國寶帖)	一三
第三十一圖	佛像顏面側線比較圖 (濱田)	一三
第三十二圖	支那石窟寺平面圖 (1) 龍門賓陽洞 (2) 同上奉先寺 (大村氏美術史)	一五
第三十三圖	支那山西雲崗石窟寺 (關野博士寫真)	一八
第三十四圖	支那河南龍門奉先寺石窟 (同上)	一八

第卅五圖	支那河南龍門敬善寺石窟 (シヤヴァンヌ氏圖譜)	一〇八—一〇九
第卅六圖	朝鮮慶州石窟庵釋迦像 (濱田寫真) 及浮彫菩薩像 (朝鮮古蹟圖譜)	一一四—一二五
第卅七圖	朝鮮慶州掘佛寺四面石佛 (濱田寫真)	一二四—一二五
第卅八圖	肥後玉名郡石貫村橫穴佛像 (熊本縣廳寫真)	一二六—一二七
第卅九圖	磐城相馬郡福浦石窟佛像 (長谷部博士寄贈寫真)	一三四—一三五
第四十圖	上野河内郡大谷寺石佛 (丸山氏所贈寫真)	一三四—一三五
第四十一圖	奈良春日山地獄谷石窟佛像 (松岡寫真)	一三四—一三五
第四十二圖	同上地獄谷線刻佛像 (同上)	一三四—一三五
第四十三圖	大和忍坂石位寺石彫三尊佛像 (飛鳥園寫真)	一三四—一三五
第四十三圖 ^a	大和金谷彌勒谷石彫佛像 (同上)	一三四—一三五
第四十四圖	奈良十輪院地藏十王等石造佛龕 (松岡寫真)	一三四—一三五
第四十五圖	筑後三池郡上楠田石人 (濱田寫真)	一三三
第四十六圖	白杵町南津留村石工現用器具 (島田君)	一三三
卷末	大分市元町龍ヶ鼻石佛覆堂新舊後景	一三七

大正十四年三月十日印刷
大正十四年八月十日發行

發行者 京都帝國大學

活版印刷人

桂 千代 造

京都市下京區柳馬場三條下ル(似玉堂)

玻璃版印刷人

桑 名 節

京都市上京區寺町通夷川上ル

賣捌所 岩 波 書店

東京市神田區南神保町十六

京都帝國大學考古學部研究報告目録

第一冊	肥後に於ける裝飾ある古墳及横穴 (大正六年發行) 絶版	濱田耕作、梅原末治
第二冊	河内國府石器時代遺跡發掘報告 河内高安及喜志石器時代遺跡調査 河内國府肥後縣等にて發掘せる人骨 (大正七年發行) 絶版	濱田耕作、梅原末治、島田貞彦、鈴木文太郎
第三冊	九州に於ける裝飾ある古墳 彌生式土器形式分類聚成(附録) (大正八年發行) 絶版	濱田耕作、梅原末治、島田貞彦
第四冊	河内國府石器時代第二回發掘報告 河内國府石器時代人骨調査 著色圖版一葉 玻璃版石版十八葉(大正九年發行)	濱田耕作、長谷部言人
第五冊	備中國淺口郡津雲貝塚發掘報告 肥後國宇土郡轟貝塚發掘報告 (大正九年發行) 絶版	清野謙次、島田貞彦、濱田耕作、榊原政職
第六冊	薩摩國出水郡出水町尾崎貝塚調査報告 出水貝塚の貝殻獸骨及び人骨 薩摩國揖宿郡指宿村土器包含層調査報告 玻璃版、石版三十九葉(大正十年發行)	濱田耕作、島田貞彦、長谷部言人、濱田耕作
第七冊	攝津高槻在東氏所藏吉利支丹遺物 京都及其附近發見の切支丹墓碑 切支丹合字入鞍及南蠻人繪鞍 日本發見銅劔銅鉞銅鍬聚成(附録) 著色圖版二葉 玻璃版石版等四十六葉(大正十二年發行)	新村出、濱田耕作、濱田耕作、梅原末治
第八冊	近江國高島郡水尾村の古墳 日本發見金製耳飾刀劔環頭同鹿角裝具聚成 著色圖版一葉 玻璃版等三十九葉(大正十三年發行)	濱田耕作、梅原末治

定價六圓

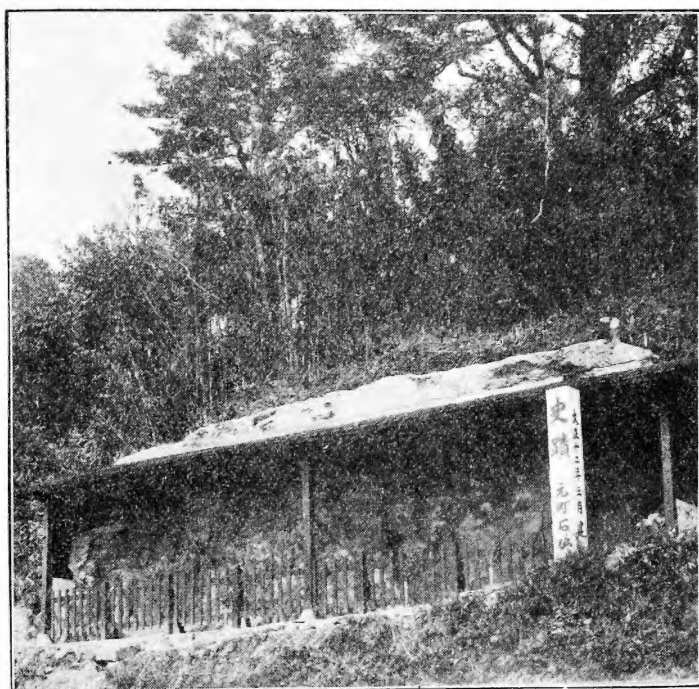
表訂修誤正

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
序一	一六	「豊州磨崖石佛」	「豊州磨崖石佛」	同	七	座像	坐像
同二	一八	小川晴陽	小川晴陽	同	一〇	脇侍	脇侍
目次一	一	豊後の磨崖石佛研究	豊後磨崖の石佛研究	六七	八	到抵	到底
同六	一三	右端十王像	右端十王像 <small>(小川博)</small>	六八	一三	髻髮冠と形と	髻髮冠の形と
同七	一七	<small>(百萬分一地質圖ニ據り小野君製圖)</small>	<small>(四十萬分一地質圖ニ據り小野君製圖)</small>	六九	六	Mahashanaprapta	Mahashanaprapta
一	一	豊後の磨崖石佛研究	豊後磨崖石佛の研究	七一	一一	Kshigarha	Kshigarha
四	三	明治二十三年	明治三十三年	七七	一三	Kajmasutra	Rasa
註上	五	田澤孝次氏	田邊孝次氏	七九	九	始めて	盛んに
註下	五	全鉢	全鉢	八二	六	瓜實形	瓜實形
一〇	一六	Cetaka	Cetaka	同	一三	極めて	極めて
一一	一六	一大像 <small>(12A)</small>	一大像 <small>(11A)</small>	八七	一八	寶篋印塔	寶篋印塔
一六	二	高頭上より地面迄約十九尺六寸	高頭上より地面迄約九尺六寸	八八	一	感興へるのが	感と興へるが
一七	二	Aparvolokitesvara	Ekadasankha	九二	一六	「大正七年」の前に「河内金剛寺にも一基を傳へ嘉應書寫の陀羅尼經の奥に請來の願末を記す」を加ふ	末尾に「木崎愛吉氏、日本金石史、參照。」を加ふ
二二	一〇	隙立つて	隙立つて	同	一七	末尾に「木崎愛吉氏、日本金石史、參照。」を加ふ	兜跋毘沙門天
同	一四	Haeriva	Haeriva	同	一七	兜率毘沙門天	兜跋毘沙門天
三四	一〇	「著しものはこの次に「丹後國加佐郡志樂金剛院(快慶作)」を加ふ	丹後國加佐郡志樂金剛院	一〇四	一四	日本書記	日本書記
四〇	八	Ekadasiyaguru	Ekadasiyaguru	一一四	一九	法隆寺金堂彌勒、法隆寺聖觀音の上に(●)を附す	法隆寺金堂彌勒、法隆寺聖觀音の上に(●)を附す
四三	八	Anitaha	Anitaha	一一〇	三十一圖	上野	下野
同	一一	第四は十一面觀音	第四の十一面觀音	一一六	一六	末尾に「河内」上山麓鹿谷寺の石佛及石塔も亦た此の類である(考古學雜誌、第四卷第六號、岩井武俊氏論文)を加ふ	下野
同	一一	Ekadasankha	Ekadasankha	一一八	九	上野	下野
五一	二	豐鐘善鳴錄	豐鐘善鳴錄	一二九	二	上野	下野
五四	二	<small>(上下顛倒)</small>	約十尺	同	七	上野	下野
六〇	一	約十尺	約十尺	一三〇	二	阿蘇	阿蘇
六一	一	不實成就佛	不空成就佛	一三四	六	上野	下野
六三	一七	逗しい	逗しい	一三五	一	天然記念物	天然記念物
六四	七	Annayajama	Annayajama	同	三	報告	報告
六五	八	跏座	跏坐	一四七	三	東西國東郡	東西國東郡

豊後主要磨崖石佛地名表

所在地名	名稱	像種	推定年代	備考
大分市上野元町	(A) 岩薬師	薬師(坐)、不動及二童子、毘沙門	平安朝初半	} 通稱薬師十 二神將
同上	(B) 三尊佛	佛坐像三昧	平安朝?	
同上	(C) 三尊佛	佛坐像、脇侍二菩薩	平安朝?	
同上	(D) 未完成龕			
同上	(E) 佛龕	佛坐像五昧、五輪塔	鎌倉以後?	
同上野元町龍ヶ鼻	(A) 西群	大日、三尊佛、不動、毘沙門等十一昧	平安朝及以後	
同上	(B) 東群	三尊佛、毘沙門、十一面等六昧	平安朝	
同上	(C) 千佛岩	千昧佛	平安朝?	
大分郡稲田村大字高瀬	(A) 石佛洞五尊	大日、如意輪、馬頭觀音、大威徳、深沙大將	平安朝中期	
同上	(B) 三尊佛龕	阿彌陀、釋迦、薬師(一壺三蓮)	平安朝?	
大野郡菅尾村大字浅瀬	岩権現	薬師、阿彌陀、十一面、千手觀音、毘沙門	平安朝中期	
同南緒方村大字新字宮園		大日、不動、持國(?)仁王、五輪塔	平安朝	
同上		釋迦、阿彌陀、薬師	平安朝中期	
同合川村大字六種		不動及二童子、阿彌陀、薬師	鎌倉以後	
同緒方村大字軸丸		不動明王		
同井田村大字大迫		大日坐像	平安朝?	後世大補修ヲ 施ス
同犬飼町大字田原		不動明王及二童子	足利以後	
同上井田村大字上尾塚 普光寺		不動明王及二童子	鎌倉以後?	(未見)
直入郡豊岡村妙見寺	不動堂	不動明王	足利以後?	(未見)
同上		十一面觀音、聖徳太子等	足利以後	
北海部郡白杵町大字深田	(A) 大日山群	大日、四佛 二菩薩二明王、増長、多聞等 十三昧、及仁王	平安朝	通稱十三佛
同上	(B) 隠レ地藏群	佛坐像三昧	平安朝	
同上(満月寺址)	仁王	金剛力士二昧	不明	
同上(同上)		蓮城法師像	足利以後?	
同上(同上)		眞野長者夫妻像	鎌倉以後?	
同上(南津留村中尾台)	(C) 堂ヶ迫下群	三尊佛、三佛、觀音等八昧	平安朝	通稱過去七佛
同上(同上)	(D) 堂ヶ迫下群	阿彌陀、觀音、勢至、及二菩薩	平安朝中期	
同上(同上)	(E) 堂ヶ迫上群	五輪塔薄彫	鎌倉初期	
同上(同上)	(F) 堂ヶ迫上群	地藏、十王	平安朝末期	或鎌倉初期
同上(同上)	(G) 堂ヶ迫上群	大日、釋迦、阿彌陀、觀音、勢至	平安朝	
同上(同上)	(H) 堂ヶ迫上群	阿彌陀、釋迦、薬師、愛染明王	平安朝	愛染ハ鎌倉?
同上(同上)	(J) 堂ヶ迫上群	釋迦、阿彌陀、薬師、觀音、勢至	平安朝	
同白杵町大字門前		大日、釋迦、阿彌陀(?)不動及二童子、 毘沙門	平安朝末期?	
西國東郡田染村熊野社		大日(坐)、不動明王及種子曼荼羅	鎌倉?	
同田染村大字眞中	四面佛	阿彌陀	鎌倉以後?	
同田染村大字眞中郷社		不動及童子、地藏等	足利以後	
同田染村大字眞中大門坊		不動明王等	足利以後	
同上眞玉村中畑	四方窟	金剛畧五佛、六觀音、不動明王、六地藏、 多聞天等十九昧、及種子曼荼羅		(未見)
同珠郡飯田村		不動明王及二童子	鎌倉以後?	(未見)

〔附記〕 東西國東郡等ニ於ケル石佛ハ此ノ表中ニ載セザルモノ多シ



大分市元町龍ヶ鼻石佛堂新築後景

CORRIGENDA

	<i>for</i>	<i>ar</i>	<i>read</i>	<i>at</i>
Preface line 8				
Page i	5	Iwa-yakushi	the Iwa-yakushi	
i	7	Broup	Group	
iii	33	Buddhistic	Buddhist	
v	6	Dadnichi	Dainichi	
„	31	Distani	Distant	
vii	16	Rockcut	Rock-cut	
„	23	Tatsungahana	Tatsu-ga-hana	
Page 2	21	Yudaira	Yunohira	
3	10	Bhaysajaguru	Bhaisajyaguru	
8	18			
19	10			
4	22	Ekadasamka	Ekadaśamkha	
19	22	hisfory	history	
9	18	Long-men	Lung-men	
13	18	figured	figures	
„	29	Rajirasattva	Raga	
20	31			
15	30	In each stupa is	Each stupa contains	
17	28	charsdter	character	
21	6	come	comes	
Plate VNI		Roek-cut	Rock-cut	
LII		Rock-cnt	Rock-cut	
I XXVI	}	Buddistic	Buddhist	
I XXVII				
END		Bungs	Bungo	

REPORTS UPON ARCHÆOLOGICAL RESEARCH

- | | |
|-------|---|
| I. | Ornamented Tombs in Higo.By K. Hamada & S. Umehara.
47 plates. (1917.) <i>(Out of Print)</i> |
| II. | Excavation of a Neolithic Site at Kô.By Prof. K. Hamada.
Neolithic Site at Kishi and Takayasu.By S. Umehara.
On the Human Skeletons found at Kô, &c.By Prof. B. Suzuki.
31 plates. (1917.) <i>(Out of Print)</i> |
| III. | Ornamented Tombs in Kiuhû.By K. Hamada & S. Umehara.
Corpus of the Yayoishiki Pottery. 35 plates (1918.) <i>(Out of Print)</i> |
| IV. | Second Excavation at Kô in Kawachi.By Prof. K. Hamada.
Study upon the Human Bones found at Kô. ...By Prof. H. Hasebé.
1 coloured & 51 collotype plates. (1919.) <i>5 Yen</i> |
| V. | Excavation of the Shell-mound at Tsukumo in Bitchû.
Excavation of the Shell-mound at Todoroki in Higo.
By Prof. K. Kiyono, M. Sakakibara, S. Shimada, & Prof. K. Hamada.
1 coloured & 52 collotype plates. (1919.) <i>(Out of Print)</i> |
| IV. | Excavation of the Shell-mound at Idzumi in the Province of Satsuma.By Prof. K. Hamada & S. Shimada.
On the Shells, Animal Bones and Human Remains found in the Shell-mound at Idzumi.By Prof. K. Hasebé.
A Prehistoric Site at Ibusuki in Satsuma. ...By Prof. K. Hamada.
39 collotype plates. (1920.) <i>4 Yen</i> |
| VII. | Christian Relics found at Mr. Higashi's House, north of Takatsuki.By Prof. I. Shimmura.
Christian Tomb-stones found in Kyôto. By I. Shimmura & K. Hamada.
Two Horse-saddles, one with Christian Coat of Arms and the other with Pictures of Portuguese. By K. Hamada & S. Umehara.
Corpus of Bronze Implements found in Japan.
2 coloured & 46 collotype plates (1922.) <i>6 Yen</i> |
| VIII. | Ancient Sepulchre at Midzuo, Takashima-gun, in the Province of Omi.By Prof. K. Hamada & S. Umehara.
Corpus of the Gold Ear-pendants, Ring-shaped Pommels of the Swords and Deers' Antler Work Ornaments of the Swords and Knives found in Japan.
1 coloured & 29 collotype plates (1923.) <i>6 Yen</i> |

ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE, DEPARTMENT OF LITERATURE,
 KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY

REPORT UPON ARCHAEOLOGICAL RESEARCH
IN THE DEPARTMENT OF LITERATURE
VOLUME IX.

YOKOYAMA
KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY
4-1925

STUDIES IN THE
ROCK-CUT BUDDHIST IMAGES

IN THE
PROVINCE OF BUNGO



PUBLISHED

BY

THE KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY

1925